

大川原

ライフ

LIFE

2023年2月

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区の避難指示が解除されました。さらに2022年6月には下野上地区など町内の一部で避難指示が解除され、住民が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

町内移住者に聞いてみた

実は「若い方」
増えてます

／教えて！町内の暮らし／

こんにちは👋 今回は昨年町内に移住したインキュベーションセンターのスタッフである谷田川さんと池田さんをご紹介します💎 どうして大熊町に住むことになったのか、実際に住んでみてどう感じたかインタビューしました👏



今年のいつ頃引越して来たんですか？

7月に住民票を移しました！



ふたりとも20代です！
若いですねー！

移住のきっかけは？

谷田川：町内の古民家の利活用に関する事業に興味を持ったことがきっかけですね。事業を進める上で、町に腰を据え、軸となる人が必要になりました。チャレンジしたい気持ちが強かったので、町に住んで事業に臨むことを決意しました👏

池田：きっかけは前の職場の同僚から大熊町のイベントに誘われたことです。初めて町に訪れたとき「何も無い」ことに衝撃を受けました。ここから町がどうなっていくのか気になってわくわくしちゃいました😊
そこから様々なつながりがあり、インキュベーションセンターでお仕事することになりました。



谷田川さん

やたがわ さわ
谷田川 佐和です
東京から来ました！

いけだ みほ
池田 未帆です
秋田県出身です！



池田さん

住まいは？

谷田川：不動産の仲介で下野上の一軒家を借りることができました。大川原の再生賃貸住宅は満室で、アパートも検討したんですけどね。一軒家なら複数人を家に泊めることもできるなと思い決めました。今はふたりでシェアハウスしています🏠

不便に感じる場所は？

谷田川：思ったほど不便ではないです。そもそも便利さを求めて来たわけではないので気にならないですね♡

下野上の暮らしはどお？

池田：下野上はまだ住んでいる人が少ないので、大川原でランニングや犬の散歩をしている人を見るとうらやましく感じます。街灯も多くないので夜は暗いです。暗いからこそ星がすごくきれいに見えます🌙☆☆☆

谷田川：私たちが住んでいるエリアはごみの回収を環境省が行っています。曜日の指定や袋の指定がないので今はごみ捨てが楽です♪来年度からは大川原と同じく指定袋での分別が必要になるみたいですね。

今後の予定は？



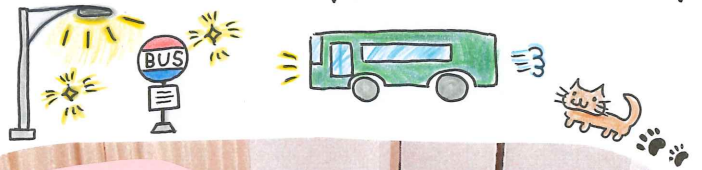
谷田川、池田：もともと3年は町に住む予定でした。ですが町の今後を見届けたいのと、ここでもっといろんなことにチャレンジしたいので「いつまで」というのは特に決めていません。みなさんと一緒にどんどん町を盛り上げていきたいな🌸



佐藤

今回おふたりの話を聞いて感じたのが、とにかくここでの暮らしを楽しんでいること！「便利＝楽しい」ではないんだなあと、ハッとさせられました。また現在の下野上の生活が「少し前の大川原」と同じだということもおもしろいなと思いました！私も今の大川原での暮らしを存分に楽しむぞ！

池田：車を持っていないのですが、電車や生活循環バス、シェアモビリティがあるので交通面もなんとかなっています。バス停がもっと明るいとうれしいな💎



シェアハウス内を見せちゃいます！\

移住に不安はなかった？

谷田川：全くなかったです。町にすんなり受け入れてもらったような感じ。まだ移住して数ヶ月ですが、町の様子が日々変わっていくので「あそこ変わりましたね！」って言っちゃう。そういうところも新参者な感じがしない良いポイントかも👍

池田：大熊町は閉鎖感がなくて、むしろウェルカムな雰囲気を感じます。また双葉郡全体的に20代半ばから30代の若い方が多くいるので、同年代の方とつながることができて楽しいです👍